



“ぎまままに”
川柳

今月のお題
年に一度

年一と 言わずに欲しい お年玉 ダンニヤバード	大笑い 土堤で大の字 花火見ゆ 足立昌代	お元気で 年に一度の 健診を ジョージ	年会は 齒の抜けるごと 人の減り ぼこべん	おばあちゃん 笹に願い事 子らに幸 服部ハツ義	セ夕に 会いたいと願う 亡き父母に 松村葉子	年一度 妻に感謝の 温泉旅行 加藤正光	セ夕の 短冊はみだす 願い事 月丘夢子
----------------------------------	-------------------------------	------------------------------	--------------------------------	----------------------------------	---------------------------------	------------------------------	------------------------------

■応募方法
 住所・氏名またはペンネームを明記し、直接または郵送、Eメールで広報広聴係へ。
 〒509-5192 (住所不要) ✉ koho@city.toki.lg.jp
 ☎ 1111 (内線613) / FAX 7750
 ※応募多数の場合は採用されないことがあります。

8月1日号の投稿募集
 お題は「サングラス」です (1人1句)。
 締め切りは7月12日(金)です。



わたしの ほやねさん

「ほやねさん」とは…
 つらいときや悩んだとき、そっと寄り添って
 「ほやね、ほやね」と話を聞いて、心を支えてくれる人

子どもがまだ3歳のころ、妻が病院に入院しました。そのため、子どもの面倒を自分一人で背負うことに。朝食の準備、保育園へ送っていき、仕事をした後、保育園への迎え、帰宅後は夕食やお風呂の準備など一人で何とかしないとイケないと思い込み、慣れない家事・育児に手を焼いていました。また、お母さんを寂しがって泣く子どもを前にどうしていいかわからず戸惑うことも多々ありました。

そんな私のほやねさんは職場の上司でした。子どもが熱を出し、仕事を休まなければならないときも「遠慮せず休め。仕事は俺たちに任せておけ。」と快く休ませてくれたり、私自身に対しても、「ちょっとくらい手を抜いたって子どもはちゃんと育つよ。あまり根を詰めすぎないように。」と育児の先輩としてもアドバイスをくれたりしました。


2週間ほどで妻は退院し、日常生活を取り戻していききました。職場で報告をしたときに、その上司から「こうしてお父さんが頑張っていた姿はきっと子どもも覚えているよ。」と労いの言葉をいただきました。私も上司の立場に立つときがあれば部下のほやねさんになってあげたいと思います。



ペンネーム ディーン
(土岐津町)



募集



掲載の「わたしのほやねさん」ストーリーの他、市内に実在する「まちのほやねさん」を募集します。あなたがこれまでに出会ったほやねさんを400字程度の紹介文と一緒にお寄せください。

■応募方法
 住所・氏名またはペンネーム・電話番号を明記し、直接または郵送、Eメールでまちづくり推進課へ。
 〒509-5192 (住所不要) ✉ machisui@city.toki.lg.jp
 ☎ (内線312) / FAX 7763

